

事業所名	Kids Smile+	発達支援の5領域との関連性を明確にした KidsSmile+支援プログラム			作成日	2024年	10月	1日	
法人(事業所)理念	「ソーシャルインクルージョン社会の実現」福祉＝人権を最も必要としている”社会的排除を受けている人々(受ける可能性の高い人々)”を支援し、エンパワーすることです。そして、個々の支援にとどまらず、排除を生み出す社会をも改革するための力となるような取り組みを、他に先駆けて実践していきます。								
支援方針	①子どものライフステージに応じた切れ目ない支援 子どもは、生まれてから大人になるまでの間、さまざまな成長や変化を遂げます。その中で、子どもが安心して成長し、自立していくためには、ライフステージに応じた切れ目ない支援が必要です。ヒューマンライツ福祉協会では、子どもの年齢や発達段階、ニーズに応じて、さまざまな支援サービスを提供します。また、子どもたちが幼児期から成人期まで一貫した支援を受けられるよう、関係機関と連携した支援にも取り組んでいきます。								
	②子どもの強みを発見し可能性を伸ばすエンパワメント支援 ヒューマンライツ福祉協会では、子ども一人ひとりの強みを発見し、その可能性を伸ばすことを支援の目標としています。そのため、子どもとスタッフの信頼関係を築くことを大切に、子どもの個性や特性を尊重し、子どもが自ら考え行動できるように支援していきます。子どもが自分の強みや可能性に気づき、自信を持って行動できるように、また子どもの自己肯定感を高め、自らの力で困難な状況を乗り越え、立ち直る力を育みます。								
	③子どもを中心に家族や保育・教育機関等との協働による支援 ヒューマンライツ福祉協会では、子どもを中心に家族や保育・教育機関等との協働による支援を重視しています。子どもの支援は、子ども自身だけでなく、その家族や周囲の環境も含めて考えることが大切です。そこで、子どもを中心に、家族や保育・教育機関等と連携した支援を行っています。また、積極的に地域のネットワークに参画して、子どもたちが地域の中で安心して成長できる環境づくりにも取り組んでいます。								
営業時間	9時	00分	18時	00分	送迎実施の有無	☑あり なし			
発達支援の5領域	支援内容				支援内容				
本人支援	全体	Kids Smile+エンパワメントプログラム			Kids Smile+プログラムは、小学生から高校生までを対象とし、発達支援の5領域をバランス良く網羅しており、子どもたちの多様な発達を総合的にサポートするプログラムです。特に、思春期以降の子どもたちが直面する課題に対して、社会性を高め、自立を促すためのプログラムが充実している点が特徴です。これらのプログラムを通して、子どもたちは、自分自身の強みや弱みを理解し、将来の目標に向かって進んでいくための力を養うことができます。				
	健康・生活	ライフスキルトレーニング(高校生)			将来の社会生活に必要なスキルを学び、自立を促します。				
		Kidsミッション+			生活に必要なスキルを学び、自立心や自己管理能力を養い、日常生活を自立して送るための基盤を築きます。				
		料理教室(中学生)			食に関する知識や調理スキルを習得し、自立した生活を送るための基礎を学びます。				
	運動・感覚	スポーツ(小学生)			様々な運動を通して、身体能力の向上だけでなく、バランス感覚や協調性も養い、運動能力の向上と身体感覚の発達を促します。				
		アート&クラフト			ハサミや筆などの道具を使うことで、細かい動きをコントロールする能力を養います。				
	認知・行動	ライフスキルトレーニング			将来の自立生活やキャリア形成に必要なスキルを習得します。				
		Kidsミッション+			ゲームやロールプレイングを通して、思考力・判断力や計画性を養います。				
		プログラミング			論理的思考力や問題解決能力を養い、創造性を育みます。				
		タイピング			情報処理能力や集中力を高めます。また、情報検索能力やデジタル機器の操作スキルを習得します。				
	言語コミュニケーション	ソーシャルスキルトレーニング ジョブリハ			対人関係スキルやコミュニケーションスキルを向上します。				
		女子会			同年代の女の子との交流を通して、コミュニケーション能力を養います。				
		音楽クラブ			音楽を通して表現力やコミュニケーション能力を養います。				
	人間関係社会性	ソーシャルスキルトレーニング ジョブリハ			社会生活を円滑に送るためのスキルを習得します。				
		ライフスキルトレーニング			社会生活に必要な協調性や社会参加に必要なスキルを習得します。				
		Kidsミッション+			グループワークを通して、協調性や社会性を養います。				
		女子会			同年代の女の子との交流を通して、協調性やコミュニケーション能力を養います。				
	その他	<b>■本人支援の個別化</b> 上記はあくまで一例であり、個々の利用者の状態やニーズに合わせてプログラムは個別化されます。 <b>■保護者への情報提供</b> 定期的に保護者へエンパワメントプログラムの進捗状況や課題などを共有します。 <b>■地域連携</b> 必要に応じて、保育所や学校、福祉サービス事業者などと連携し、より効果的な支援を提供します。							
	家族支援	①こどもの信頼感を育み、家族や周囲の人と安定した関係を形成するための支援 ②家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ③こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ④心理的カウンセリングの実施 ⑤保護者同士の交流の機会の提供 ⑥こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、ペアレント・トレーニングの実施 ⑦家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供			移行支援	①具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価・支援 ②具体的な移行先との調整 ③移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達 ④家族への情報提供や移行先の見学調整 ⑤移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ⑥移行先への相談援助 ⑦進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助 ⑧併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有 ⑨併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整			
	地域支援・地域連携	①こどもが通う保育所等や通う予定の学校・放課後児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、 ②児童発達支援計画の作成又は見直しに関する会議の開催 ③こどもを担当する保健師や、こどもが通う医療機関等との情報連携や調整 ④こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携 ⑤虐待が疑われる場合には、児童相談所やこども家庭センターとの情報連携 ⑥個別のケース検討のための会議の開催			職員の質の向上	①発達が気になる子どもの研修の実施 ②OJTの実施 ③発達障害等のスーパーバイズの実施 ④情報共有の促進(職員会議、事例検討会など) ⑤1on1ミーティング、職員評価制度の導入			
主な行事等	西成区保護者会SUNO、発達障害等にかかわる研修会の開催、Kids Smile+体験・見学会 など								